静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登録が可能
連写、装飾なども可能
V603SHの画面に合った
サイズなどで撮影可能

メール添付や壁紙登録など、
V603SHで利用する静止画を
手軽に撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの
大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由で
パソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V603SHで
プリントアウトの指定が可能

こんなときに

パソコンで加工／印刷するなど、
いろいろな用途に利用できる
静止画を撮影するとき

- V603SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントする画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

- ムービー変装はN-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。

7 カメラ機能

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横1632×縦1224ドット※1 横1280×縦960ドット（SXGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V603SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）	V603SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
光学ズーム	２倍（２段階）	
デジタルズーム	横240×縦320ドット：1～10倍 横120×縦160ドット：1～20倍 横120×縦128ドット：1～20倍	横1632×縦1224ドット：なし 横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：１～1.6倍 横640×縦480ドット：１～2.5倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
保存形式	JPEG（.jpg）	
登録可能数（目安）	1900ファイル※3	310ファイル※3

※1　デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2　サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登録した画像も添付できます。
※3　お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、V603SHに登録したときの画像数です。

補足
- V603SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.7-35を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年03月15日午後12時34分に撮影→「05-03-15_12-34.jpg」）※
デジタルカメラモード	「VFSH0001.JPG」、「VFSH0002.JPG」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登録先に同じ名前のファイルがあるときは、登録したファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。
- 写メールモードのファイル名は、変更できます。（☞P.13-46）

注意
デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V603SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V603SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

- カメラモードの選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容を画面に表示できます。（☞P.7-31）

1 ビューアポジション（☞P.1-11）で、Sを長く（１秒以上）押す。
お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 C（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Sを押す。

3 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、Sを押す。

4 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-5
- 各種撮影方法：☞P.7-25
- マニュアル撮影：☞P.7-28
- フォーカスロック撮影：☞P.7-8

5 Sを押し切る。
ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-25）
- 撮影のやり直し：C➡「1YES」選択➡S
- 画像編集：☞P.13-23～P.13-30
- SDメモリカードへ登録：C（１秒以上）➡「登録先」選択➡S➡「2メモリカード」選択➡S
（登録先を再び変更するまで、SDメモリカードに登録されます。）

注意
シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

補足
撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.7-32）
このとき、操作６は必要ありません。

6 静止画を登録するときは、Sを押す。
登録中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、Cを長く（１秒以上）押す。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ

1 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、◉を押す。

2 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-5
- 各種撮影方法：☞P.7-25
- マニュアル撮影：☞P.7-28
- フォーカスロック撮影：☞P.7-8

3 ◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

●シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-25）

- 撮影のやり直し：クリア➡「1YES」選択➡◉
- 画像編集：☞P.13-23〜P.13-30
- SDメモリカードへ登録：✉（機能）➡「登録先」選択➡◉➡「2メモリカード」選択➡◉
  （登録先を再び変更するまで、SDメモリカードに登録されます。）

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.7-32）
このとき、操作4は必要ありません。

4 静止画を登録するときは、◉を押す。

登録中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

セルフショットポジションで撮影するとき
撮影前の画面には、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後の画面には反転していない画像が表示されます。

登録していない画像があるとき
終了の確認画面が表示されます。
●「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登録せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
●「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

アドレス帳登録　写メールモードで撮影した静止画をアドレス帳に登録します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「5アドレス帳登録」選択➡S／◉➡P.5-6操作4

サムネイル登録　デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）だけを、データフォルダのピクチャーフォルダに登録します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ デジタルカメラモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「1サムネイル登録」選択➡S／◉

サムネイル90度回転　デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）を回転し、画像の向きを変えて登録できます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ デジタルカメラモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「2サムネイル90度回転」選択➡S／◉

●さらに回転するときは、C（1秒以上）または✉（回転）を押します。

- 回転後のサムネイル登録：S／◉

自動保存設定（☞P.7-32）を「ON」に設定しているときは、上記の操作はできません。静止画の撮影前に、自動保存設定を「OFF」にしておいてください。

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒまたは◎（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

画質設定	画質を設定します。（☞P.7-30）
撮影サイズ設定	撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.7-29）
AFモード切替	オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.7-28）
光学ズームON／OFF	光学ズームを設定します。（☞P.7-28）
モバイルライト	モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／カラーを設定します。（☞P.7-27）
ムービー変装※	顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.7-16）
シーン別撮影	シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.7-29）
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）
特殊撮影設定 タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.7-26）
特殊撮影設定 連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.7-16）
特殊撮影設定 フレーム設定※	画像にフレームを付けます。（☞P.7-15）
オプション設定 シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.7-25）
オプション設定 登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
オプション設定 自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.7-32）
オプション設定 オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.7-32）
データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
キー操作ガイド	現在の撮影モードで利用できるボタン操作を表示します。（☞P.7-31）
明るさ設定	明るさを調整します。（☞P.7-29）
カメラモード選択	モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.7-31）

※ 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

静止画の撮影直後（画像登録前）にⓒを長く（１秒以上）押すか、◎（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）
2画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.13-23～P.13-30）
3登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
4メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.7-42）
5アドレス帳登録	撮影した静止画をアドレス帳に登録します。（☞P.7-13）
6データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）

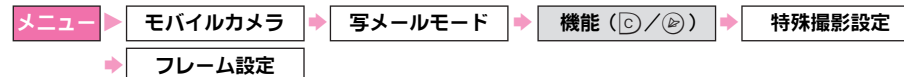
■デジタルカメラモード

1サムネイル登録	サムネイルだけを登録します。（☞P.7-13）
2サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.7-13）
3メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.7-44）
4登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
5データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
6表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）

フレームを付けて撮影する

写メールモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も、フレームとして利用できます。
●連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

メニュー ▶ **モバイルカメラ** ▶ **写メールモード** ▶ **機能（ⓒ／◎）** ▶ **特殊撮影設定** ▶ **フレーム設定**

1 ***あらかじめ登録されているフレームを利用する***

1「1固定フレーム」を選び、Sまたは●を押す。

2フレームを選び、Sまたは●を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：◀または◎（**前へ**）／▶または◎（**次へ**）

3 Sまたは●を押す。

オリジナルフレームを利用する

1「2オリジナル」を選び、Sまたは●を押す。

●フレームに利用できない画像は、選択できません。

2フレームを選び、Sまたは●を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：ⓒ／◎（**戻る**）➡画像選択➡S／●

3 Sまたは●を押す。

●撮影サイズ「240×320」のときに、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除する

1「3OFF」を選び、Sまたは●を押す。

顔に装飾を付けて撮影する

写メールモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手したムービー変装ファイル（MSK形式の画像）も利用できます。
●ムービー変装は、撮影サイズ「240×320」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、フレーム／連写設定、撮影モードの切替などはできません。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ）➡ ムービー変装

1 「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、Sまたは◉を押す。

2 装飾の種類を選び、Sまたは◉を押す。

●ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

■ 装飾の変更：◀または◎（前へ）／▶またはⓅ（次へ）

3 Sまたは◉を押す。

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。

●フォーカスロック（☞P.7-8）したり、オープンポジションで ◎（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。

■ ムービー変装の解除：Ⓒ／Ⓟ（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡S／◉

静止画を連続して撮影する

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。

●連写モードでは、1枚目のシャッター（Sまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
●連写モードの種類と利用できる撮影モードは、次のとおりです。

連写モード	概　　要	写メールモード	デジタルカメラモード
4枚連写	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像を作成します。	○	※1
9枚連写	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
25枚高速連写	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。	※2	×
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて9枚の静止画を撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
オーバーラップ連写	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。	○	×

※1　撮影サイズ「480×640」のときだけ利用できます。
※2　撮影サイズ「240×320」のときは利用できません。

連写画像から1枚の静止画を選択して登録したり（☞P.13-22）、スーパーメールに添付して送信する（☞P.7-42）こともできます。

連写モードを設定する

連続撮影するモードと、1枚目のシャッターを押したあと自動的に撮影されるスピードを設定します。

●4枚連写／9枚連写では、設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
●25枚高速連写では、スピードは変更できません。
●お買い上げ時には、連写スピードは「**普通**」または「**通常**」に設定されています。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ）➡ 特殊撮影設定 ➡ 連写設定

1 *写メールモードの連写モード設定*

1「1 4枚連写ON」～「5オーバーラップ連写ON」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

「25枚高速連写」を選んだときは連写モードが表示され（☞P.7-5）、撮影画面に戻ります。

■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡S／◉（操作完了）

デジタルカメラモードの連写モード設定

1「1 4枚連写ON」を選び、Sまたは◉を押す。

■ 連写モードの解除：「2OFF」選択➡S／◉（操作完了）

2 連写スピードを選び、Sまたは◉を押す。

連写モードが表示され（☞P.7-5）、撮影画面に戻ります。

●暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
●モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 連写モードを設定する

画像を画面に表示し、S を押し切るか、◉を押す。

1枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：C／✉（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあとS／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：C（1秒以上）／◎（取消）➡「1YES」選択➡S／◉（途中まで撮影した画像は消去されます。）

補足

手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）

1枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッターを押します。［S（押し切り）／◉］

2 連写が終われば、連写画像が表示される。

デジタルカメラモードは、1枚目に撮影した静止画が表示されます。

- 連写画像内の静止画の確認：◀▶／◎
- 連写画像内の静止画の登録：◀▶／◎（画像選択：分割画像も可能）➡C（1秒以上）／✉（機能）➡「1表示画像登録」選択➡S／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◀▶／◎➡C（1秒以上）／✉（機能）➡「2表示画像添付」選択➡S／◉（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

4枚連写

3 連写画像を登録するときは、Sまたは◉を押す。

連写モードのままで元のカメラモードに戻ります。

- 写メールモードは、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録されます。（登録場所：データフォルダ内の連写フォルダ）
- デジタルカメラモードは、1枚ずつ個別に登録されます。（登録場所：デジタルカメラフォルダ）

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前にCを長く（1秒以上）押すか、✉（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

機能	説明
1表示画像登録	撮影した静止画を選んで登録します。
2表示画像添付	撮影した静止画をメールに添付します。
3登録先	連写画像の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
4データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
5表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）